

被爆国から核兵器禁止の声と行動を 核保有国へ「核兵器のない世界」の合意実行を迫ろう

核兵器禁止こそ平和と安全の道

核兵器の開発も、保有も、使用も禁止する核兵器禁止条約が2017年に国連会議で採択されました。条約支持国は国連加盟国の3分の2にひろがり、調印国は70か国、批准国は23か国となりました。条約の早期発効が期待されます。

ところが、アメリカ、ロシアなど核保有国は、「核兵器は安全の保証」などと言って禁止条約に反対し、新型核兵器まで開発しようとしています。

核兵器は1発でも使われれば、「ヒロシマ・ナガサキ」の惨害に示されるような非人道的結果をもたらします。核兵器による世界の「安全」はありません。

日本政府は非核・平和外交を

みなさん、日本政府が核兵器禁止条約に反対の態度をとっていることを知っていますか？

「日本の安全にはアメリカの『核の傘』が必要だ」というのがその理由です。しかし、それは「核兵器は安全保障のため」という、核保有国の理屈と同じものです。世界が日本に求めていることは、核兵器で身を守るのではなく、世界から核兵器をなくすために真剣に努力することです。

日本政府に「核の傘」から離脱し、核兵器禁止条約に調印、批准するよう求めましょう。(2019年5月6日)



国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

Tel:03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>

ヒバクシャ国際署名 941万5025人分 ニューヨークへ

核兵器を禁止し廃絶する条約の締結を求める「ヒバクシャ国際署名」は、4月下旬から5月初めにニューヨーク・国連本部で開かれる核不拡散条約(NPT)再検討会議の議長へ提出されます。

世界数億の署名を！



☆署名はオンラインでも受付中！
QRコードからアクセスを！